

平成25年度 各事業部会活動報告

《医療事業部会》

医療事業部会長 新垣 慶子

<活動内容>

- ・平成25年度は医療事業部のメール、FAXの連絡網を通し、立ち入り検査等の情報を共有し、関係施設と連携して、対応しました。
- ・医療事業部新人栄養士を中心に自主的な定期勉強会を月～2月まで月1回計6回栄養士会事務所で開催し、「学んだことを実践に活かそう！」をテーマにまとめの発表会を4月に実施しました。各グループから5演題が出され、若い栄養士が各職場で真剣に仕事に取り組む姿勢がわかる有意義で活発な発表会でした。

<研修会>

①平成25年度栄養ケア活動支援整備事業第3回研修会と共催

演題1 「管理栄養士・栄養士に求められる地域連携に必要な栄養管理」

講師 医療法人 光晴会 篠崎 彰子先生

演題2 「小児の栄養管理～在宅を支えるNSTの取り組み～」

講師 神奈川県立こども医療センター アレルギー科 医長 高増 哲也先生

12月22日 参加者 名

②「平成26年度診療報酬改定概要と医療分野栄養士に必要なスキルと将来像」

講師 公益や団法人日本栄養士会医療事業部

企画運営副委員長 渡辺 啓子先生

3月29日 参加者81名

<地域活動>

- ・食育イベント
- ・県民健康フェア
- ・電話栄養相談
- ・小児糖尿病サマーキャンプ
- ・糖尿病週間
- ・IBD友の会、調理実習
- ・CKD戦略研究の協力

《地域活動事業部会》

地域活動事業部会長 吉田 陽子

平成25年度は、会員約130名が在籍、社会のニーズに対応しうる実力のある栄養食事指導、支援ができるよう情報を共有し、スキルアップに努めて妊産婦から乳幼児、高齢者までライフスタイルに合わせた県民の食生活、健康づくりの支援を行いました。

厚生労働省の受託事業の栄養ケア活動支援整備事業は2年目となり、研修会や実習をおこないスキルアップし、在宅において栄養指導を実施しました。今後、在宅医療の支援体制強化に伴い、会員の活躍の場が増えることが想定されます。他機関・多職種との連携も図りながら各自が持てる力を出し合い新しい分野にも挑戦できるよう、ご意見、ご指導、ご協力をお願いします。

★平成25年度 会員交流、スキルアップのための活動

- ・栄養ケア活動支援整備事業研修会、行政・地域活動・集団健康栄養士事業部研修会（糖質制限食を科学的に検証する！）をはじめ、各種研修会の企画・運営に携わると共に、多くの会員の参加がありました。

- ・ 定例会 6回開催 情報交換、ミニ勉強会

(毎月第3土曜日定例会の開催を行います。他事業とちがう場合は中止)

内容 4月：会員交流会 6月：会員交流他 7月：「乳幼児健診時情報」南部地区の取り組み
9月：健康日本21(第二次)の概要及び地域活動事業部の重点課題
11月：「減塩食品リスト」重要ポイント 3月：「伝達学習」

★ 平成25年度 主な地域活動

- ・市町村ヘルスアップ事業 ・栄養ケアステーションでの電話相談・県民栄養調査の協力、妊産婦の食生活相談、乳幼児検診時の栄養相談、一般栄養相談、特定健診保健指導等 ・クリニックにおける栄養指導 ・食育月間の委託事業(展示、調理実習、食育寸劇) ・ホームヘルパー育成事業
- ・高齢者の介護予防教室の講師 ・那覇市委託事業の外食アドバイザー派遣事業に協力 ・マスコミ依頼の出演、執筆等 ・保育園や学校、地域での食育講師 ・各種イベントにおける栄養相談 ・企業依頼のクッキング教室、5ADAY事業の協力 ・「うちな一版食育カルタ」による食育

《福祉事業部会》

福祉事業部会長 上間 鈴美

平成25年度福祉研修会が6月14日に行われました。今年の講師は、ハートライフ病院の心療内科医長菅野善一郎先生に「脳機能からみた認知症とうつ病」の講義で、老人施設や身心障がい者施設において認知症の方やうつを煩った方に対する食事摂取のあり方について栄養士が直面していることを機能的な理解と最新の情報を学ぶことができた研修会でした。沖縄県においても長寿を脅かしている肥満は、うつ病のリスクを上げカロリー制限することで脳由来神経栄養因子を増やすことなど興味を引く内容でした。

来年度の研修会はうつと認知症の方の関わる薬剤の事を学びたいと意見が出ましたので検討を行う事になりました。

《公衆衛生事業部会》

公衆衛生事業部会長 砂邊 里佐

行政栄養士協議会は、公衆衛生事業部会へと名前が変わり、行政だけの活動だけでなく、より広い意味で公衆(沖縄県民)の健康づくりの活動に沖縄県栄養士会とともに寄与していきたいと思っています。今年度は、新人栄養士研修会において、「栄養士に求められる危機管理の役割」について実際に災害支援に行った行政栄養士が講話をしました。また、地域活動栄養士研修会として地域活動部会とともに「糖質制限食の功罪」について企画したところ、大きな反響を得ました。

行政栄養士に求められる業務は、幅広く、更に進化を求められており、これからの課題としては、健康危機管理体制の検討や地域の保健サービスにおける栄養士の質の向上、集団給食施設指導との連携など様々あり、公衆衛生部会として取り組んでいきたいと思っています。今年度は、公衆衛生部会独自の研修会を企画できなかったため、次年度は是非、皆様のご協力を頂き勉強していきたいと思っています。

《学校健康教育事業部会》

学校健康教育事業部会長 佐和田 恭代

平成25年度は、事業部独自の事業は実施できませんでしたが、県栄養士会事業への参加をしました。今年度から始まった「長寿再生プロジェクト」への参加は、現在は参加者のみの取り組みですが、次年度は実施に向けて事業部全員で取り組んでいきたいと思っております。学校現場では、保健体育課、医師会、琉球大学と様々な機関と連携した、食に関する事業が進められています。多忙化する仕事内容ですが、これからも他事業部と交流を図りながら、お互いのスキルアップのため積極的な参加をお願いします。

〈主な活動報告〉

- ・新人栄養士研修会
- ・栄養士研究発表会の勉強会
- ・長寿再生プロジェクト
- ・県民健康フェア
- ・食育フェスティバル
- ・健やか親子おきなわ21の策定

《勤労者支援事業部会》

勤労者支援事業部会長 儀保 玲子

平成25年度は県栄養士会主催の独自事業、委託事業に参加しました。毎年の目標である事業部独自の研修会は、やはり会員数が少ないこともあり今年度も実施することができませんでした。しかし会員同士の交流する場を設け、情報交換をすることができました。26年度は定期的集まり協議会を充実させるとともに、独自事業としては困難な研修会を、他事業部会と協力しながら実施し、また県栄養士会主催の事業へも積極的に参加するなど会員のスキルアップをめざしていきたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

〈活動報告・研修会参加〉

- ・新人栄養士研修会
- ・栄養士研究発表会の勉強会
- ・県民健康フェア
- ・食育フェスティバル
- ・長寿再生プロジェクト
- ・管理栄養士国家試験講座
- ・地域活動栄養士研修会
- ・健康日本21推進フォーラム

《八重山部会》

八重山部会長 仲道 愛子

1：部会活動

- 平成25年5月29日（木） 食育劇場一なごみの広場保育園
- 平成25年6月13日（木） 食育劇場一市立新川保育園
- 平成25年7月30日（火） スチームコンベクション実演講習会の実施
- 平成25年8月11日（日） 夏休み親子料理教室

2：栄養ケア支援整備事業への参画

●ITによる栄養指導（在宅栄養指導）

平成25年12月14日（土）、平成26年2月8日（土）の2回実施（いずれも対象者は別）

●石垣島での研修企画実施

平成 25 年 10 月 25 日 (金)

「在宅栄養指導のすすめ～地域栄養ステーションをつくりましょう」

講師：西村一弘先生 (日本栄養士会理事)

●沖縄本島への研修代表派遣

平成 25 年 10 月 19 日 (土)

「在宅訪問栄養指導の実際と成果」講師：中村育子管理栄養士

平成 25 年 12 月 22 日 (日)

「管理栄養士・栄養士に求められる地域連携に必要な栄養管理」講師：篠崎彰子管理栄養士

「小児の栄養管理」～在宅を支える NST の取り組み～ 講師：高増哲也医師

※いずれも役員各 2 名派遣

●企画推進委員会会議への参加 (平成 25 年 9 月 4 日、平成 26 年 3 月 10 日)

※いずれも部会長出席

●マップ WG、レシピ WG での八重山における会議召集

マップ WG は病院・福祉・地域班班員による構成

レシピ WG は行政・学校班班員による構成

いずれも各 1 回会議実施

さらにマップ班 WG として成果報告を兼ねて

平成 26 年 2 月 20 日 (木) 「病院・福祉食事形態統一勉強会」の実施

3：部会協力事業

平成 25 年 10 月 27 日 (日) JA 八重山「キッズ野菜料理コンテスト」審査

平成 25 年 11 月 16 日 (土) 石垣市包括センター「がんじゅう教室・栄養講話」講師

平成 25 年 12 月 1 日 (日) 「第 24 回石垣市健康福祉まつり」での栄養士会コーナー設置

平成 25 年 12 月 7 日 (土) 「ヘルシーメニューコンテスト」の保健所共催開催 (1、2 次審査)

平成 26 年 1 月 30 日 (木) 平成 25 年度八重山地区医療協議会」への出席

ベネフィットワン・ヘルスケア (株) 委託特定保健指導

平成 26 年 1 月：八重山部会管理栄養士 5 名派遣

平成 26 年 3 月：八重山部会管理栄養士 1 名派遣

通年：石垣市母子保健事業 (乳幼児健診) への栄養士派遣

今年度は昨年度以上に栄養ケア事業の比重が大きく、現役員体制では無理があったように感じています。次年度も継続して本事業の実施が見込まれるのであれば、その企画・実施に当り、県本部との連携を深める必要があると痛感しています。

《宮古部会》

宮古部会長 細田 実

本年度の主な活動内容です。

1. 研修会等

【栄養ケア活動支援整備事業研修会への参加・協力】

宮古島研修会① 平成25年10月24日(木)「在宅栄養指導(在宅NST)のすすめ」

～地域栄養ケアステーションをつくりましょう～講師：西村 一弘先生

宮古島研修会② 平成25年11月2日(土)「口から食べて生きること」

～最期まで口から食べられるために～講師：五島 朋幸先生

【琉球新報食育フォーラムへのパネラー参加・協力】

平成26年2月8日(土) テーマ：「取り戻そう健康長寿正しい食生活でうぶばた解消！」

「基調講演～内臓脂肪型肥満を防ぐ食生活～今すぐできること～」講師：徳永 勝人先生

【平成25年度地域活動栄養士研修会】

平成26年2月22日(土)「糖質制限食を科学的に検証する！～栄養士が考えるバランス食～」

講師：新城 澄江先生

2. 地域活動

平成25年5月28日(火) 宮古介護福祉士の会へ講師派遣

テーマ：「糖尿食の現況」～予防から食事療法まで～

平成25年8月18日(日)「夏休み小学生料理教室」の開催

平成26年1月26日(日) 新春ウォーキングの開催 ～池間島一周ウォーキング～

3. その他

通年：宮古島市健康増進計画推進委員会(今年は宮古部会が委員長を引き受けました!)や宮古島市食育推進計画、チャーガンジュー沖縄応援団への参加協力

今年度も支援整備事業を通して本島と離島の距離感がグッと近くなるような経験をたくさんさせていただきました。離島も目指す所は同じです。来年度も地域貢献へ寄与すべく精力的に活動してまいります。

《糖尿病療養部会》

糖尿病療養部会長 福里 勝子

当部会の主な活動内容は、糖尿病に関する研究、研修会の開催、日糖協県支部が主催する小児糖尿病サマーキャンプ、全国糖尿病週間等の協力と、部会員へのさかえの発送作業を行っています。

昨年は、LCDE(沖縄県地域糖尿病療養指導士)の認定制度が始まり、当部会への入会会員が増えました。新規会員、既存会員が受験され、44名の栄養士が合格されました。

当部会において、栄養士のレベルアップを図るため、下記のような研修会を開催し、多くの方々の参加がありました。また、会員同士の情報交換の場にもなっています。

会員の皆様、共に学び、行動しましょう！

小児糖尿病サマーキャンプや全国糖尿病週間等、各施設、多くの方々の参加、協力がありました。参加、協力された皆様、どうもありがとうございました。

〈活動状況〉

1. 研修会 I (CDE 第 1 群 0.5 単位取得、IIからは LCDE1 単位取得)

〈I〉「やる気を起こさせる患者さんとの関わり方」

沖縄協同病院 心療内科部長代行 小松知己先生 6/22

〈II〉「沖縄食材を使ったヘルシーレシピ」

島やさい工房 かめさんといっしょ店主・栄養士 島袋都子先生 10/31

〈III〉「糖質制限食を科学的に検証する！」

琉球大学元教授 新城澄枝先生 3/27

2. 第 36 回沖縄県小児糖尿病サマーキャンプ 玉城青少年の家 7/31～8/3

3. 第 51 回糖尿病学会九州地方会 沖縄コンベンションセンター 11/8～11/9

4. 沖縄 CDEJ News 執筆

6 月 山川房江 「透析にならないための食事療法」

11 月 金城典子 「糖尿病の地域医療連携における栄養指導」

5. 中部・南部保健所講師依頼

2/6 中部保健所 糖尿病予防推進リーダー研修会

「糖尿病予防の食生活について」 講師 吉田陽子

2/10 南部保健所 特定健診特定保健指導等に役立つ栄養指導のスキルアップ研修

「糖尿病の食事療法」 講師 宮まさよ